

文化が活きる京都の推進に関する条例に基づく 基本的な指針



京都府では、社会のあらゆる分野において、京都の文化が将来にわたり継承されるとともに、新たな価値が持続的に創造される文化が活きる京都を推進するため、令和6年7月に「文化が活きる京都の推進に関する条例」を制定いたしました。そしてこの度、その具体的な取組を効果的に実施するため、「文化が活きる京都の推進に関する条例に基づく基本的な指針」を策定いたしました。

本指針では、条例の理念を踏まえた4つのめざす姿と、その実現に向けた8つの重点プロジェクトを掲げております。京都が長年培ってきた「縁」を重ねる文化、「技」を極め、生み出す文化、「心」を育み、つなぐ文化、「個」性ある地域文化という京都の文化の強みを活かした取組を展開する中で、新たな文化政策の潮流を生み出し、文化の力で国内はもとより世界に貢献していく京都をめざしてまいりたいと考えております。

文化が活きる京都の推進に向け、文化活動の主役として地域を支える住民や団体の自主性を尊重しながら、文化庁や市町村、文化・経済団体、教育機関など多様な主体とも連携し、それぞれの持つ資源を活かしながら、本指針に掲げる取組を一丸となって推進してまいります。

令和7(2025)年6月
京都府知事 西脇 隆俊

めざす姿

1

人と人との絆が大切にされ、 受け継がれた文化が 将来にわたり継承される京都

茶道や華道などの生活文化、京料理をはじめとする府内各地の郷土食などの食文化、伝統芸能や年中行事など、先人から連綿と受け継がれてきた京都の文化を、誇りと愛着を持って将来に継承

2

匠の技と進取の気質で 革新を起こし、新たな価値が 持続的に創造される京都

国内外との多様な交流により育まれた京都の匠の技や、現代アート、メディア文化といった新たな文化も積極的に受容し発展させてきた進取の気質を活かして、新たな価値を創造する土壌を整え、持続的な経済成長を実現

3

文化が暮らしの基盤となり、 豊かな人間性が育まれる 京都

文化が感性や創造性といった豊かな人間性を育むとともに、人と人、人と社会とのつながりを形成するなど、人の成長や社会全体を支える糧となり、満ち足りた生き方やウェルビーイングの向上につながる社会を実現

4

京都の文化の力を活かし、 府内各地で活力が 生み出される京都

四季の移り変わりや人々の暮らしとともに育まれた祭りや年中行事などの多様で個性あふれる地域文化の魅力を活かし、さらに磨き上げることにより、各地で活力が生み出される京都を実現

重点プロジェクト

project

1

文化が活きる「継往開来」プロジェクト

project

2

「KOGEI」ネクスト・ステージプロジェクト

project

3

アート・ジャンクション京都プロジェクト

project

4

メディア・ビッグ・バンプロジェクト

project

5

文化によるウェルビーイング向上プロジェクト

project

6

文化の心はぐくみプロジェクト

project

7

地域文化による地域活性化プロジェクト

project

8

人と地域をつなぐミュージアムプロジェクト

京都の文化の強みを活かす取組推進の視点

めざす姿の実現に向けて、京都の文化が生まれる中で培われ、受け継がれてきた京都の強みを活かしていきます。

「縁」を重んじる文化

年中行事の継承など、京都の都市機能を支えてきた町衆の文化や、全国から特産物が集まり、調理法や接遇にも創意工夫がもたらされた食の文化、四季折々の行事や風習といった暮らしの文化など

活用イメージ

縁を交わす（国内外からの誘客や新たな関係の創出）
縁を紡ぐ（連携・交流の促進）
縁を深める（人と人や物の関係強化）

「技」を極め、生み出す文化

朝廷・公家、各宗派の総本山、茶道や華道の家元などが存在し、最高級の品が作られてきた京都に現代も息づく、技を極め、国内外から集まる新しい技術などを活用し、新たなサービスや製品、作品を生み出す文化

活用イメージ

技を掛け合わせる（新価値の創造）
技を高める（技術の修練）
技を魅せる（新技術の披露・発信）

「心」を育み、つなぐ文化

社寺における様々な教えや信仰、茶道や華道といった「道」を極める文化により、心の鍛錬や精神の豊かさを追求する土壌が形成されてきた京都に現代も息づく、心を育み、つなぐ文化

活用イメージ

心を育む（文化に込められた心根の継承・教育）
心を動かす（文化を活かした社会参加の促進）
心を癒す（文化を活かしたウェルビーイング）

「個」性ある地域文化

地域の歴史風土、生業などに育まれた魅力ある伝統芸能や景観、暮らしの文化といった、府内各地に受け継がれる、それぞれの地域に根差した固有の文化

活用イメージ

個を探す（地域文化の掘り起こし）
個を磨く（地域文化の磨き上げ）
個を活かす（地域文化の活用）

推進体制

- 文化活動の主役は、それぞれの地域を支えている住民や団体であり、その自主性を尊重します。
- 文化庁、市町村、文化・経済団体、教育機関など多様な主体とも有機的に連携し、それぞれの持つ資源を活かしながら、本指針の取組を一丸となって推進します。
- さらに、府内外のアーティストやデザイナー、プロデューサーなどによる「京都文化デザインハブ」を組織し、プロジェクトに適した文化人材と共創することで、文化デザインをアップデートしながら、より効果的に取組を推進します。

数値目標

指標	基準値 (2024年度)	目標値	出典
文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合（％）	61.8	90.0	文化に関する府民意識調査（府文化政策室）
国内外や異分野との文化的な交流が盛んに行われていると思う人の割合（％）	-	90.0	文化に関する府民意識調査（府文化政策室）
文化・芸術に係る地域幸福度（Well-Being）主観データ（文化・芸術）偏差値※	54.0	70.0	Well-Being全国調査（デジタル庁）
※数値の最小値は20、最大値は80			
歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合（％）	82.5	90.0	京都府民の意識調査（府総合政策室）

発行元

京都府文化生活部文化政策室

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL：075-414-5166 FAX：075-414-4223

H P：https://www.pref.kyoto.jp/bunsei/2024zyourei.html



「文化が活きる京都」の推進に向けて

自他を尊重し、自然を畏敬し、
物事を大切にすると心といった
京都の人々の「こころ」を受け継ぎながら、
4つのめざす姿を実現することにより、
文化の力で地域の活性化や
産業振興・経済成長が持続的に図られ、
誰もが心豊かに暮らせるあたたかな京都、
文化で世界に貢献していく京都をめざしていきます。





能、狂言などの伝統芸能や茶道、華道などの生活文化、京料理、郷土食などの食文化や伝統工芸など、これまで受け継がれてきた文化を次世代に継承するための取組を推進

めざす姿 1

人と人との絆が大切にされ、受け継がれた文化が将来にわたり継承される京都

project 1 文化が活きる「継往開来」プロジェクト

縁を紡ぐ 縁を深める 心を癒す

生活様式の変化や価値観の多様化によって継承が困難になりつつある**伝統芸能や生活文化**などについて、多様な主体の連携・交流や府民による体験を促進することにより、**担い手の育成や現代に求められる新たな革新につなげる取組**を推進

- 取組例**
- 後水尾天皇が二条城に赴いた、江戸時代最大のイベントといわれる「寛永行幸」から2026年で400年を迎えることを記念した事業を展開
 - 急須でお茶を飲む、暦に合わせた食や衣服、家の設えを愉しむといった日常の生活文化を、自分と向き合う「#(ハッシュタグ)豊かな時間」として発信し見つけ直す府民運動を展開 など

project 2 「KOGEI」ネクスト・ステージプロジェクト

縁を交わす 技を掛け合わせる 技を高める

職人の減少と高齢化が進み、技術の継承が危ぶまれる**工芸**について、国内外との交流や海外販路開拓により、**背景にある文化を含めた魅力を発信**するとともに、**アートとしての「KOGEI」など、新たな価値を創造する取組**を推進

- 取組例**
- 海外美術館のキュレーターなどを招聘して、世界的アートの視点から京都の工芸の魅力や価値を再評価し、新たな「KOGEI」を国内外へ展開
 - 技術力の高さだけでなく、その背景にある歴史・風土や精神性などの魅力や神髄に触れることができる工房見学会を外国人向けに実施するなど、海外への発信力を高め、販路を開拓



アート市場の拡大やメディア文化の振興、異分野交流による新たな文化の創造など、これからの時代に求められる新たな価値を創造する取組を推進

project 3 アート・ジャンクション 京都プロジェクト

縁を交わす 縁を紡ぐ 技を高める

日本有数のアートフェア「Art Collaboration Kyoto」や若手アーティストの活躍の場「ARTISTS' FAIR KYOTO」、日本の時代劇の評価が世界的に高まる中で一層注目が集まる「京都ヒストリカ国際映画祭」などをさらに発展させ、**京都が多くのアートと人が交差しつながり合う「アート・ジャンクション」となることをめざす取組**を推進

- 取組例**
- 大学などの枠を超えた教員の協力を得て、国際的なアートイベントなどの企画・運営や魅力的な情報発信、資金調達などを担うマネジメント人材を育成
 - 様々な場所にアートを展示することで、府民や観光客がアートを身近に感じ、触れ、つながり合えるアート空間を府内全域に創出



Courtesy of ACK, photo by Moriya Yuki

めざす姿 2

匠の技と進取の気質で革新を起こし、新たな価値が持続的に創造される京都



撮影者：顧 剣亨

project 4 メディア・ビッグ・バンプロジェクト

縁を交わす 技を掛け合わせる 技を高める

早くから映画撮影所が開設され、世界で活躍するゲームやアニメの制作企業が誕生した京都から、**メディア文化を支えるクリエイターやビジネスにつなげるマネジメント人材を育成**するとともに、新たなメディア文化を創造する取組を推進

- 取組例**
- 世界の有望若手クリエイターを発掘する新たな公募表彰制度を創設し、歴史的建造物などの京都ならではの特別な空間を活かして、従来の枠に収まらない新たなメディア文化を創造・発信
 - 大学などと連携し、作品の収益化を支えるマネジメント人材など、世界的に評価の高い日本のメディア文化のさらなる発展につながる人材を育成



文化体験・文化活動への参加による社会とのつながりの形成やそれによる健康増進など、文化を活かしたウェルビーイングの向上をめざす取組を推進

地域に根差す文化を活かした地域活性化の取組を促進するとともに、地域文化の拠点である文化施設の機能を活性化する取組を推進

project 7 地域文化による地域活性化プロジェクト

心を育む 縁を交わす 縁を紡ぐ
技を魅せる 個を探す 個を磨く
個を活かす

過疎化や高齢化の進行により継承が危ぶまれる府内各地の祭りや年中行事、伝統芸能や景観、暮らしの文化などについて、その独自性や文化的価値を分かりやすく伝え、魅力的に発信することで、継承や地域の活性化につなげる取組を推進

- 取組例
- 地域の祭りや伝統芸能、郷土料理などの地域文化の魅力を国内外へ発信し、交流を促すとともに、未来に引き継ぐための新たな発表の場を創設
 - 遊休民家を活用して、年中行事や暮らしの文化、伝統工法技術などを体験・継承する地域の拠点とし、地域内外との交流や新たなコミュニティの形成を促進 など



めざす姿 4

京都の文化の力を活かし、府内各地で活力が生み出される京都



project 8 人と地域をつなぐミュージアムプロジェクト

縁を紡ぐ 縁を深める 心を動かす 個を探す 個を磨く 個を活かす

資料の保存・展示といった従来からの役割に加え、地域の活力向上への寄与が求められる博物館や美術館などについて、「京都府ミュージアムフォーラム」の機能強化や、子どもから大人まで府民の主体的な参画を促す取組を推進

- 取組例
- 京都府ミュージアムフォーラムの枠組みを活かし、災害時に収蔵品の相互保管などを行う「京都府ミュージアム防災ネットワーク」を構築
 - 博物館や美術館などの持つ資源を活かした魅力的で皆に開かれた展示や情報発信により、多世代が集い交流する拠点づくりを推進 など

めざす姿 3

文化が暮らしの基盤となり、豊かな人間性が育まれる京都

project 5 文化によるウェルビーイング向上プロジェクト

縁を深める 技を掛け合わせる 心を癒す

国民の約8割が日常生活に不安や悩みを感じ、孤独感を感じる人も約4割に上る中、身近な地域や職場における文化体験などを通じたつながりづくりなど、文化を活かしたウェルビーイング向上の取組を推進

- 取組例
- 大学などと連携し、文化に触れる機会の少ない現役世代を対象に、文化体験や美術鑑賞などによるウェルビーイングの向上効果を「見える化」
 - 芸術を学ぶ大学生と福祉施設などの利用者が一緒に文化活動を行うなど、文化による多世代・異分野の交流を通して、より良く生きるための新たなつながりを創出 など

project 6 文化の心はぐくみプロジェクト

縁を紡ぐ 縁を深める 心を育む

茶道のおもてなしの心、華道の自然を敬う心といった伝統文化の心根(精神性)や、様々な価値観、背景を超えて対話や共感を促す文化の力を、次世代を担う子どもたちに分かりやすく伝え育む取組を推進

- 取組例
- 伝統文化の魅力を分かりやすく伝えるプログラムの開発など、子どもの好奇心を揺さぶり、単なる「体験」から生涯を通じた「学び」につなげるしくみを創出
 - 演劇や音楽、絵画、文学などを通して、自ら深く考え、対話によって相互に考えを深め、人間関係やチームワークを形成するコミュニケーション教育を推進 など

